土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

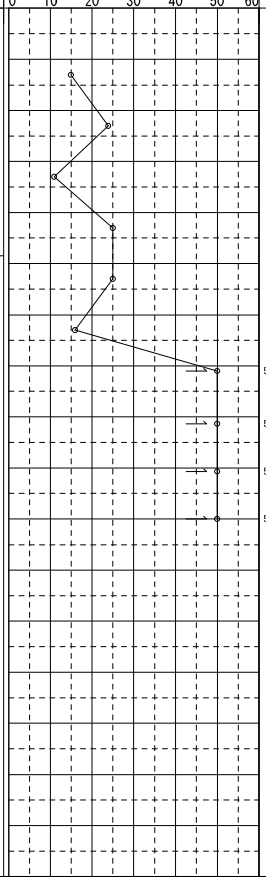
調査名	主要地方道　三次庄原線　交通安全施設整備事業に伴う測量・設計業務委託(交付金)
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　橋梁・高架

ボーリング名	BorNo.R3-MBr-2	調査位置	広島県三次市三良坂町　地内(主要地方道　三次庄原線)			北緯	34° 48' 22.4514"
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和4年 3月 9日～ 令和4年 3月17日	東経	132° 59' 32.9172"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 223.76m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	25° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	12.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機　D1-C48型	エンジン	ヤンマー　TF120V-E型	ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位/測定月日
1 2 3	220.06	3.70		礫混り砂質土		褐灰	rd3		盛土 ・礫はφ20-75mm程度の中-粗礫が混入 ・場所的に拳大程度の粗礫及び拳大強の玉石が点在 ・基質は中-粗粒砂から成る砂質土 ・細粒分を伴い粒度不均一	
4 5 6	217.06	6.70		玉石混り砂礫		青灰	rd3		河成堆積物(河岸段丘堆積物) ・確認石長L=10cm程度の堅硬な玉石が混入 ・礫はφ20-75mm程度の中-粗礫 ・基質は粗粒砂主体の粒度不均一な砂 ・本層上部GL-3.90mまで腐植混じる黒褐の旧耕作土(礫混りシルト質砂)	3/14 4.85
7 8	214.86	8.90		安山岩		青灰			吉舎安山岩(DH) ・原岩組織は明瞭に残存 ・岩質はやや軟質化するも岩片は硬質 ・採取試料は岩片-短柱状であり、一部の破砕区間で礫-土柱状を呈す ・GL-6.90-7.90m間、破砕著しい ・岩級区分はDH級に分級される ・自破砕溶岩の破砕帯部	
9	214.06	9.70		安山岩		青灰			吉舎安山岩(CL) ・全体に不規則な節理発達 ・採取試料は岩片-礫状を呈す	
10 11 12	211.76	12.00		安山岩		青灰			吉舎安山岩(CM)白亜紀前期火山岩 ・岩級区分はCL級に分級される ・石基は青灰色で緻密長石の斑晶が目立つ ・岩質は堅硬なるも全体に節理発達 ・採取試料は岩片-短柱状であり、ハンマーの打撃で金属音を発す ・節理にて白灰色の膠着物を挟む	
13 14 15 16 17										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	1.15	4	6	5	15/300		
24	1.45 2.15	8	9	7	24/300		
11	2.45 3.15	4	4	3	11/300		
25	3.45 4.15	7	8	10	25/300		
25	4.45 5.15	7	8	10	25/300		
16	5.45 6.15	7	6	3	16/300		
50以上	6.45 7.05	50			50/100	100	
50以上	7.15 8.05	30	20		50/170	170	
50以上	8.22 9.05	50	70		50/40	40	
50以上	9.09 10.00	40 貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/9
				3/10
				3/11
				3/14
				3/15
				3/16